



令和二年度大曲商工会議所青年部

直前会長

日本商工会議所青年部秋田県連

代表理事

秋田県商工会議所青年部連合会

会長

木村 勝幸

人間社会で生きるということ。
 目標を少しだけ高く設定し、社会の競争に打ち勝ち、多少の困難にもあきらめずに日々精進すること。様々なことを経験し、学び、ステツ

プアアップし、ワンランク上の人間性を身に着けること。やがては余裕をもつてゆつくりと過ごす、時には少し贅沢して華やかな時間をおくこと。局面はそれぞれ違えど、豊かな生活を考える上で誰しもが考えたことがあるであろう事象だと思えます。

平成から令和へ時代が移り変わり、新しいステージでのリスタート。年度当初はそんな背景の中で、次なる未来への期待感を持ちながら新時代へ突入しました。いつもとは一味違う機運に押され、また、大曲YEGの会長職という使命を預かったことも相まって、意気揚々とスタートしたように記憶しています。

一年間を振り返ってみると、台風、大雨などの天変地異、いまだ終わりの見えないコロナウイルスなどのネガティブイメージばかりが

浮かんでしまします。日常にある便利が失われたとき、当たり前前の日常がありがたく感じました。予定や目標が達成できないと不満を覚えました。生活に必要なものがない通りに手に入らないと不安に思いました。競争に打ち勝ち、ステツプアップして、余裕を持った生活やぜいたくな時間を過ごすことは、日常にある幸福を忘れていくことにもなるのではないかと感じました。

向上心はなくしてはならないものではありますが、今一度足元や身の回りを見つめなおし、身近なものへの感謝を忘れずにスタートすること。これが新時代にふさわしいスタートだったのかもしれない改めて感じた一年でした。お世話になった皆様方、大曲YEG会長職を支えていただいた会員にこの場をお借りして感謝申し上げます。

新年度は、日本商工会議所青年部秋田県代表理事、秋田県商工会議所青年部連合会会長という大役を仰せつかりました。我々の暮らす秋田、大曲のみならず、日本そして世界の情勢が大きく変わろうと

している現状にあります。不便や窮屈を感じる日が増しに大きくなり、不安を覚えることも多々ありますが、この難局を乗り越えて生まれ変わるであろう新たな局面を見据えて力強く進んでいこうと思えます。

改めまして一年間よろしくお願いたします。





令和二年度
大曲商工会議所青年部会長

佐藤 渉

令和の新元号となった昨年五月より時代のふしめを見届けた一年がたち、日本では二回目となる東京オリンピック開催2020年度を迎えました。新時代の幕開けとビッグイベントを数ヶ月後に控えた華やかな心沸き立つ日々の反面、新型コロナウイルスの驚異により、日本各地では活動自粛による規制の中の生活となっております。私共が暮らす大曲でも多くの企業が影響を受けており、その中で私達は何かができるのか、今をどの様に対応していくのかメンバー皆で考え立ち向かっている今日であります。本年度大曲YEGスローガンは

「知行合一」の皆の知を結集して輪になり成（じつげん）する」といえました。

真の知識は実践によって裏付けられていなければならないこと、知識と行為は一体であるとの意があります。二十代から四十代の幅広い年齢層の経営者が集う私共は、現代の地方に暮らし、商いをする上で障害となる壁を乗り越え、日々前進しております。そのような多様な職種、経験を持つ会員が今一度原点に立ち返り、皆で問題点を共有し、研鑽を積み、集うことで自企業発展のために何が必要であるかを再考し、未来の地域を支える人たちのためにも、今課せられた役割と人づくりを五つの基本方針のもと強化していきます。そして地域の皆様より必要とされ、愛される団体であるよう会員一同輪となり進んでまいります。一年間宜しくお願いいたします。

令和二年度大曲商工会議所青年部

副会長

北緯40。Bライン連携軸

推進協議会会長

吉野 健志

令和二年度大曲商工会議所青年部副会長を仰せつかりました。初めての三役ということ、不安と緊張感のなか自分が出来る事、足りないところ、メンバーに協力をいただいて会長である佐藤渉さんと共に青年部を盛り上げて活動していきたいと思えます。

その他にも私は北緯40。Bライン連携軸推進協議会（以下Bライン）に会長として出向いたします。Bラインとは秋田県四単会と岩手県八単会の計十二単会で構成されている団体です。この団体を通じて秋田県と岩手県の交流がより一層と盛り上がりお互いの郷土をPRできる活動を進めていきます。

今年度、大曲商工会議所青年部の一助になれるようにメンバーと協力して活動していきますのでよろしくお願い申し上げます。

まちづくり委員会委員長

大内 誠

まちづくり委員会の主な事業として、大曲の花火(春の章・夏の章)や、花火競技大会・秋の章への参画や、花火ボランティア育成に向けた子供たちへの啓蒙活動があります。

大曲の花火では、会場レイアウトや入場方法が前回大会で大幅に変更されました。毎年進化し続ける大会ですので、自分たちもスキルアップし、より安全安心な大会運営とお客様に喜んでいただけるように携わっていききたいと思えます。

子供たちへの啓蒙活動では、今年PVを現在にあった内容に一新し、子供たちがより興味を持ち、将来大曲の花火に携わりたいと思える子供が増えるようにしたいと思います。

本年度のまちづくり委員会目標は「個から広がるまちづくり」としました。一人一人の意識改革からはじまり、みんなで協力し合い各事業を成功させるためにも委員会メンバーはじめ、青年部の皆さん

の協力をお願いします。今年一年よろしく願います。

研修委員会委員長 佐々木祐太

今年度の研修委員会では、昨年私が出向させて頂いた日本YEGで学んだことを会にフィードバックすべく、委員会一丸となって「政策提言とはなにか？我々は何を学び何を為すべきか？」ということを会に向けて周知することを念頭に活動いたします。明るい材料の無い昨今の社会情勢の中、我々の住み暮らすこの地域で、YEGのような比較的若い人間の所属する団体が、どのようなビジョンで今後数年先まで見越したうえで活動するべきか。地域の価値を高め、今後の混沌とした時代を切り開くためにはどのような思想・考え方が必要なのか。そういったことを皆で考える場を設け、積極的に話し合い、その中からきらりと光る指針に成りうるものを拾い上げたかと考えます。今の大仙市はもとより、日本そのものにはドラスティックな改革が必要です、現在の延長線上には破滅しかあり得ない、

その為には革命が必要だ。すまんが皆の命をくれ。革命に備えよ、大曲は偉大なり。

広報委員会委員長 高根 いずみ

令和二年度広報委員会の目標を『万里一空（ばんりいっくう）』といたしました。

これは目標を見失わずにたゆまず努力を続ける心という意味です。広報委員会のほとんどが通年事業でありますので、日々の生活の中で活動していきます。

これをルーティーンにするのは中々大変なことです。年度始めの気持ちを忘れず一年間委員会メンバーと協力し合ってやり切りたいと思いいこの目標にしました。新ホームページを春に開設し、FMはなびの番組も時間帯や内容をリニューアルとなり、大曲YEGの活動を広く皆様に知っていただくチャンスとと思っています。もちろん、多種多様な職種の会員の皆様ですので、活動の幅もそれぞれです。これからは個々に寄り添えるような活動をしたいです。

これは全部の事業に言えることだと思いますが、目標・事業計画実現のためには委員会メンバーや理事の方だけでは到底叶わないと思います。委員会にて企画運営をするのですが、参加は全会員にお声掛けして開かれた委員会としたいと思います。一年間どうぞよろしくお願いたします。

総務委員会委員長 進藤 正人

入会三年目の今年度、総務委員長を任せられました。連絡を初めに受けた際は、正直なぜ自分に?!という気持ちがありました。しかしそれは、決して嫌々という気持ちではなく驚きと緊張と言えば大袈裟ですが、とにかく身が引き締まる思いでした。一年間総務委員長として何をすれば良いのかを考えた時、実際総務で何だろう?と思いい検索をしてみました。以下、ネットより抜粋。

『総務』と聞いて思い浮かべるイメージは、「何でも屋」「雑用係」といったネガティブに思う方が多数います。しかし、総務の仕事内容は一般的に他の部署では扱わないが、

組織にとつて必要不可欠な業務の全て、と非常に広範囲な業務に携わります。さまざまな部署と関わり合えるメリットを生かし、組織全体を巻き込んだ改革は総務に与えられた醍醐味の一つと言えるでしょう。

交流委員会委員長 加藤 尚喜

委員会目標として「Diversity for vitality」
多様な価値を受け入れ互いに学び合い一人ひとりが自分らしい貢献を樂しめる環境を創造することです。

多種多様な業種のメンバーがおり事業に参加することが難しい方もいるのが現状ですが今年度の交流委員会としては、委員会事業を通して今までの価値観にとらわれずになるべく多くのメンバーの考えを取り入れ昨年度よりひとりでも多くのメンバーが多様な形で携われるようにしたいと思っております。

ます。
スポーツ事業もあるのであまり堅苦しくならずメンバー同士がお互い楽しく・面白く交流を深めてもらい年間事業に参加しやすい環境を目指したいと思っておりますのでご協力お願いします。

事業委員会委員長 嵯峨 綾子

以心合力

心を合わせて力を添えて助け合
うを委員会目標にし、青年部会員
のためになる様に企画をしていき
ます。

① 今年 は 事業委員会として初の
試みになる会員一人ひとりと
の繋がりを更に深めるための
企画を盛り込み一年間の実売
事業へのそれぞれの形で参画
しやすい雰囲気を作りたいと
思います。一人ひとりの力が合
わさり大きな力となり全員の
輪で事業が成功できるような
サポートをしていきます。

② 会員企業の商品を継続して発
掘します。

③ 地元をアピールできるような
オリジナル商品の開発販売し

ていきます。

④ 商品の魅力をより発信出来る
様、販促力を強化していきます。
⑤ 事業が今後より発展継続して
いくよう活動を記録しマニユ
アルを作成します。

以上の5つを計画の柱とし、各
委員長達、先輩方のご指導アド
バイスを頂きながらおもてな
しの心と笑顔を忘れず臨機応
変な対応の出来る事業委員会
にしたいと思えます。



四月三日(金)よりFMは presents
『YEGガレッジへようこそ!』
がスタートしました。
メンバーや内容も一新是非お聴き
ください。
毎週金曜日午後六時半から七時ま
です。



【編集後記】

今年度も大曲商工会議所青年部ス
タートしました。

奔流今年度第一号となる第六十
七号は会長を始め、県連会長、Bラ
イン会長、各委員会委員長の今年
度にかける意気込みを表明して頂
きました。今年度も大曲商工会議
所青年部は大仙地域を盛り上げな
がら商工業への活性化の取り組み
を充実して行きます。

会員も随時募集中です。
よろしくお願ひします。

広報委員奔流担当 三浦 隆吾